

## 角界答・角界説

第一問 ③ 机の下に隠れる

震度6-7クラスでは、全く何もできません、中越地震のときどうでしたか、下手に動いてケガをしないように、机の下などに身を隠して、揺れの収まるまで待ちましょう。家族を置いて自分だけ飛び出すのはやめましょう、家族がみんなが非難をします

第二問 ⑨ 笛

最悪のケース、自分が生き埋めになり脱出できない場合、所在を知らせるため最も重要になります。阪神淡路大震災では、35,000人が生き埋めとなり脱出できない状況に陥ったといわれています。

第三問 ② ガソリンスタンド

ガソリンスタンドは以外にも、火にも地震にも強い施設です、阪神淡路大震災ではスタンドで焼け止まりになったと言います。

第四問 ① 買い物かごをかぶってうずくまる

スーパー等の買い物かごは以外にも強度がある、とにかく頭を守ることが大切です。

第五問 ① 毛布で、体全体をくるんで運ぶ

脇の下だと力の及ぶ所が狭いため、ヒモもジャンバーも強い力がないと運べない

第六問 ② そのままにして救助隊の到着を待つ

長時間、足や腕などが重い物の下敷きになっていると、体内に毒素が発生する、急に取り除くと、毒素が血液をめぐり心臓停止などを引き起こすことがある、これをクラッシュシンドロームといわれています。

第七問 ③ 頭からかぶり、火災時に煙を吸わないようにする

空気を入れて頭からかぶると2-3分呼吸できます、煙を2呼吸程吸うと意識を失い倒れてしまいます。

第八問 ③ 高齢者・子供を真ん中に縦に一列になってゆっくり歩く

道路の端を歩くのは、側溝、マンホールの蓋が外れているなど危険、先頭の人が、安全を長い棒などで確認しながら着実に前に進む。元気な人が高齢者・子供を背負ったり、前後の人をロープで結んで避難する。

第九問 ③ すぐに高台や高いビルに避難する

津波は引き波なしでおこることも、地震発生から2-3分で襲ってくることもあります、揺れを感じたら、すぐに高台や高いビルに避難しましょう。

第十問 ① 瓦屋根であり屋根が重いから地震に強い

瓦屋根で屋根が重い住宅は、台風や雪に強いが重心が高いため地震に弱い。昭和56年より建築基準法が改正され、新耐震基準が制定された、これにより地震に対する強度が向上した。

第十一問 ③ 1923年（大正12年）9月1日の関東大震災教訓を踏まえて

第十二問 ① 活火山です、過去何回も噴火しています。

第十三問 ③ 計算式で約30倍といいます。

第十四問 ① 日本は世界でも有数の地震国、津波が英語になるほど多い国。

第十五問 ③ 気象庁 震度は10段階0から7まで、5.6に強弱があります。

第十六問 ③ 昭和36年9月に災害対策基本法が制定され今日に至っています。

第十七問 ② NTT伝言ダイヤル番号は171番 災害時メッセージにしたがって利用しましょう。

第十八問 ② 世界の火山数は1548箇所、その内日本は108箇所7%を占めています。

第十九問 ② 1994年から2003年まで、マグニチュード6以上は世界で960回 日本は220回

第二十問 ③ 十万回 極微小地震 震度1-2クラス マグニチュード3.5以上は2,000回です。

第21問 ① エコノミークラス症候群 血栓が動脈につまり急死すると言われています